

No.823(二〇〇二年一月一・二日合併号)から
No.855(二〇〇二年一月二一日)まで

No.823(二〇〇二年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇「苛斂誅求」の時代が始まった

「怒り」と「心根」と

―民間労組・地域ユニオン連絡会議全国集会から―

小泉人気はなぜ ―大政翼賛政治と産業報国労働運動―

医療制度改革大綱批判

現代労働運動における労働組合強化の課題

「国労闘争団とともにたたかおう会」 ―その組織と性格について―

日本的ワークシェアリングの道

―オランダモデルと日本的ワークシェアリング(三)―

おもしろい本『背教者「ユリアヌス」』

足下のアフガニスタン

俳句

読者からのおたより

大山 一新
大田 構造

原 義弘
伊勢 太郎

編集部

芝 久己
田島 省三

No.824(二〇〇二年一月二一日)

◇巻頭言◇ 力をあわせうねりをつくろう

―私たちの心はまだ石になってはいない―

「戻る勇気を決断」する時期

国労前中執が脱退、新組合結成

多面・多重的共闘を追求 ―全労協の基本方向―

不況・大失業時代下、春闘は終焉へ ―連合「春季生活闘争」方針の特徴―

「国民一揆」型春闘を提唱 ―全労連の春闘方針の特徴―

橋本知事、チェックオフ見直しを提案

―「組合費のチェックオフ」は国際労働常識―

「組合民主化」の時代が始まった

―自治労再建にむけて―

総力を結集して反対の闘いを組織

―「公務員制度改革大綱」の閣議決定強行に対する抗議声明―

よみがえる「ラテン・アメリカ病」

俳句

読者からのおたより

藤保 美年子

金太郎

全国自治体労働運動研究会

連合官公部門連絡会

編集部
田島 省三

No. 825 (二〇〇二年二月一日)

大山 一新

◇巻頭言◇ ドロ沼化するアフガン戦争

臨時大会で執行部総辞職へ ―自治労「再生プラン」を確認―

◇資料1◇ 政治的行為の制限にかんする人事院規則

爪牙ぬかれたユニオン連合 ―日経連臨時総会から―

◇資料2◇ 日経連臨時総会奥田会長あいさつ

これ以上の賃上げは論外、定昇の凍結・見直しも

焦点になるのは新たな訴訟 ―年明けからの取り組みを討論しています―

国労闘争団・家族に納得いく闘い方・解決を！ 滝野 嘉津子

ワークシェアリングのモデルか ―NTT十一万人合理化とバス分社化―

教育荒廃の原因は「大人社会」にあり 滝野 忠

―文部科学省が教育基本法見直しを諮問(一)―

読者からのおたより

No. 826 (二〇〇二年二月一日)

◇巻頭言◇ ワークシェアリングを考えるにあたって

―失業は資本主義社会では不治の病

いきいきした労働者運動こそ改憲阻止戦線の土台

―労働組合を大衆闘争の組織として蘇らせよう(上)―

国労闘争団・遺族が鉄道建設公団に新たな訴訟

鉄道公団訴訟提起にあたっての声明(原告団・弁護団)

「自動車事業の分離」提案は、組織分断・組合つぶし・

―「自動車事業の分離」・合理化提案白紙撤回闘争に向けて―

大政翼賛的政治状況に変化？ ―自民、民生両党に「異変」―

政治混乱の中で進む反動化 ―なぜ今、「教育改革」か(中)―

俳 句 田島 省三

読者からのおたより

No. 827 (二〇〇二年二月二日)

◇巻頭言◇ 自治体の農林水産関係研究機関のリストラ

情熱と闘いで「変革」を ―いきいきした労働者運動が改憲阻止戦線の土台(下)―

嬉しい大誤算

「死に体」小泉内閣に本性あらわ ―小泉の関心は天皇と自衛隊だけ―

ブッシュのアメリカは戦争国家へ

◇Q小における暴力・いじめ事件の経過・続 取り戻した四ヶ月と「と四日

いじめ・暴力と闘った親子の記録(上)

面白い本

小泉内閣の医療制度改革論は改悪そのもの ―医療費増高のデマとごまかしを斬る―

向坂先生が生きてらした

読者からのおたより

No. 828 (二〇〇二年三月一日)

◇巻頭言◇ 凜とした態度で生き闘おう！

ペイオフで金融システムはさらに動揺

◇資料と解説◇ 全労協が「解雇制限法」制定で連合に申し入れ
労働運動センターが「事務所開き」開催

―三月一日(金)午後六時三〇分より、全水道会館(東京)で―

◇Q小における暴力・いじめ事件の経過・続 ようやく息子は自主登校へ

いじめ・暴力と闘った親子の記録(下)

◇資料と解説◇ 政労資「ワークシェア」検討会議について

ワークシェアリングを「首切り賃下げ」の道具にさせるな

読者からのおたより

No. 829 (二〇〇二年三月一日)

◇巻頭言◇ 教養教育までマニュアル化

笑止なり中敷審答申

これじゃイチロー君が可哀想 ―ブツシュと小泉―

始まった魔女狩り裁判! 国労稚内闘争団

―処分ありきの査問委員会設置は国労にとって一利なし!―

小さいけれど大きな旗揚げ N T T 関連合同労働組合

―西日本 N T T 関連合同労働組合結成―

資料 結成宣言(二〇〇二年二月一七日) 本当の労働組合構築をめざす

アフガン 中東問題を学ぶ―森戸幸次氏むかえ講演会―

自治労臨時大会 ―再生の道はこれから―

「ひょうごヘルパーユニオン準備会」スタート 在宅介護ネットワーク

市町村合併は文化、歴史を奪う 中川功

読者からのおたより

編集部だより

No. 830 (二〇〇二年三月二一日)

◇巻頭言◇ 国鉄闘争の歴史的意義

労働運動強化の今日的課題 ―二〇〇二年春闘の現状から―

見えてきた敵の弱点 神奈川郵政労働者の人権を考える会

―郵政職場を変えるために―

「大失業時代」の雇用政策・自治体の役割について

―二〇〇二年第一回言一月) 定例会一般質問(一)―

労働組合に責任はないのか ―雪印食品事件と労働者―

無責任な報道、事実に対する「主張」―産経新聞への抗議文―

平和教育を守る足立の会 大野昭之

正光会経営側、準職員三名不当解雇控訴を断念

―地裁判決に基づき、二月一日職場復帰― 正光会労組支援する会

こんなこと許されていいの ―労働組合がダブル・ジョップのすすめ―

やさしく、ふかく、おもしろく

俳句

読者からのおたより

滝野 忠

編集部

滝野 忠

嶋崎英治

木村 哲蔵
田島 省一

No.831 (二〇〇二年四月一日)

天理市教育労働者組合

◇巻頭言◇教育基本法制定五十年

―基本法に学び、「平和人権・護憲」の運動に取り組もう―
こんな詳細な記録ははじめて

―Q小における暴力・いじめ事件の経過「取り戻した四ヵ月四日」を読んで―
春闘は終焉、労働運動は新たな段階へ―一人ひとりがオルガナイザーの自覚必要に―

◇資料1 日経連タイムズ「主張―金属大手の回答をみて」(〇二年三月一四日)

春闘は変質

◇資料2 奥田日経連会長「コメント」(〇二年三月一三日)

「賃金中心」から「新しい経済社会のあり方」へ

◇資料3 〇二年春季生活闘争の最大の山場を超えて(連合・〇二年二月一五日)

「雇用」問題では一定評価

「大失業時代の」の雇用政策と自治体の役割 嶋崎 英治

―私の市議会での一般質問から(二)―

全国に拡がる賃金削減攻撃 全国自治体研究者

―職場の闘いに情報も方針も示さない自治労本部―

雪印食品のパート雇用に怒りのビラ配布活動 小西 純一郎

―もう一度労働組合をつくり直す―

家族の言葉がしみわたる 矢田 昌三

―「人らしく生きよう―国労冬物語」大分上映会を終えて―

読者からのおたより 編集部だより

No.832 (二〇〇二年四月一日)

◇巻頭言◇「見る」だけでなく「動こう」

できることはたくさんある

イタリアではゼネストへ―ドイツは六・五%賃上げでスト指令―
賃下げ、労働条件悪化、リストラ・首切りの自由化

―「ワークシェアリングに関する政労使合意」の意味するもの―

◇資料1◇ ワークシェアリングの取り組みに関する五原則

失業率「低下」の「怪」―実際は六・九%超―

◇私鉄の仲間からの報告(上)◇

「春闘つぶし」の嵐のなかで 二〇〇二年春闘の総括にむけて
法案が通れば、より一層難解に―老人医療の償還払いの申請― 原 義弘

◇資料2 小泉内閣の医療制度改悪で国民負担が激増

鉄建公団訴訟の展望―加藤晋介弁護士講演から―

戦争状態に突入した中東情勢

俳句

読者からのおたより

田島 省三

No.833 (二〇〇二年四月二一日)

◇巻頭言◇ 文化と文明

滝野 忠

日本のワークシェアリングの欺まん | 政労資「合意」の意味するもの |

◇私鉄の仲間からの報告(下) 自らの意思で行動する一段高い思想もつ

二〇〇二年春闘かかたたかえり

赤峰 正俊

「人らしく生きる、生きたい」が雰囲気 |

「人らしく」上映運動を通じた大分における国鉄闘争 |

毛利 孝雄

政府から金をとるのは私の方がウマイ | 市長選の名護を訪ねて |

人をつぶしても数字をあげる

PTSDは社会的問題 | 職場で急増する精神障害 |

戦火は世界に拡大 | アフガン戦争から六ヶ月 |

No.834 (二〇〇二年五月一日)

◇巻頭言◇連合会長さんは、いつ怒る

伊勢 太郎

自民党支配は打ち破れるか | 京都府知事選挙の教訓 |

稲村 守

「国鉄闘争に勝利する共闘会議」結成

「一〇四七名の不当解雇撤回、国鉄闘争に勝利する共闘会議」趣意書

日経連・経団連が統合へ | 活動方針に労組と連携うたう |

滝野 忠

四大金融グループは出そろったけれど

なりふりかまわぬ自治労攻撃 | 帯広市長選での新たな傾向 |

宮本 嘉峰

未完のクーデター | ベネズエラ政争の背景 |

脱原発は世界の流れ | 浜岡原発を視察 |

読者からのおたより

No.835 (二〇〇二年五月一日・二一日合併号)

◇巻頭言◇軍隊のない国・コスタリカを訪ねて

澤野 義一

◇有事法制に反対する三多摩集会&地方自治体議員、共同アピール◇

私たちの暮らしに有事法制はいりません

なぜ今、有事法制か

滝野 忠

パート労働で雇用がふえたは虚構

| オランダモデルの真実と日本のワークシェアリングの道(上) |

佐藤 昭一

宴は終わった! 事実上、破棄された「四党合意」

| 二年間をムダにせず、新たな闘いの構築を |

◇資料◇ 自由民主党・公明党・保守党(平成一四年四月二六日)

JR不採用問題に関する声明

日本政治はどこへゆく | 「小泉後」の不安 |

社長のなり手もない? 新会社 | 再雇用社員はいきなり派遣・長期出張 |

護憲、改憲のはざままで揺れ動く

編集部

| 全国紙「社説」にみる五十五歳の憲法 |

七年ぶりに大規模なストライキ | ドイツ金属労働組合 |

読者からのおたより

No. 836 (二〇〇二年六月一日)

◇巻頭言◇ いかなる社会をめざすのか

—企業と高所得者に応分の税負担を—

門永 三枝子

「戦争論」(クラウゼビッツ)にみる有事法制
ルペンと小泉 —小泉は「極右」でないのか—

滝野 忠

パート労働で雇用がふえたは虚構

松尾 匡

—オランダモデルの真実と日本的ワークシェアリングの道(下)—

—よしりん「つくる会」と決裂!—

◇資料と解説◇ 国労が五月二七日に臨時大会

◇資料 国労本部への要請 国労に人権と民主主義を取り戻す会(二〇〇二年五月一四日)

生活援助金の凍結と闘争団の統制処分に反対

小西 純一郎

二人めの専従が必要に —地域から反撃の条件が見えた春闘—

読者からのおたより

No. 837 (二〇〇二年六月二一日)

◇巻頭言◇ 「現場復帰」に感謝します—完全勝利の日までご支援ください—増田都子

◇資料と解説◇ 有事関連三法案と連合の見解

法案は不十分、十分な議論・説明が必要 —有事関連三法案に対する連合の見解—

始まった「介護保険」見直し作業

◇資料 京都社会保険推進協議会 介護保険プロジェクト(二〇〇二・〇五・一九)

介護保険事業見直しに当たっての政策提言(案)

国鉄闘争はまさに階級闘争—国労臨時大会から—

◇資料 臨時大会方針◇ 与党声明を受け解決促進をはかる為の国労の態度

国労本部の無責任な態度に怒り —闘争団と本部の話し合い(五月二四日)—

憲法九条改悪に政・財・官・労・学・マスコミを総動員

滝野 忠

—民間政治臨調(二一世紀臨調)とは何か—

読者からのおたより

No. 838 (二〇〇二年七月一日)

◇巻頭言◇ 闘争団・家族をとことん支援し、連帯する

—一〇四七名の解雇撤回をめざす「五・三〇」音威子府集会「アピール」—

与党への完全屈服を再確認—私たちは闘い続ける—

国労闘争団との共闘を—協同倶楽部(クラブ)物資購入でも—

「競争の排除」が労働組合の絶対的使命—〇二年春闘をめぐる総括文書から—

春闘をおし意識に変化

「ものさし」がピンチ —被災地(神戸)メーデーから—

「自己決定・選択の自由」はまっかなウソ—障害者切り捨ての新制度—滝野嘉津子

住民の悩み、要望をつかみながらの選挙戦

石井 俊雄

—今回の議会選挙を振り返って—

読者からのおたより

No. 839 (二〇〇二年七月一日)

◇巻頭言◇ 師の言葉

稲村 守

国労闘争団・協同倶楽部に入会し、物資購入を！

長期債務問題は完全に破綻

伊勢 太郎

―国鉄分割民営化から十五年―

私鉄総連よ、おまえもか

◇有事三法案に反対するアピール（私鉄総連・〇二年五月一七日）

先頭に立ち平和憲法を守る

◇STOP！ 有事法制五・二四大集会宣言（〇二年五月二十四日）◇

平和主義こそ日本のよりどころ

◇陸・海・空・港湾労組二〇団体の声明（〇二年三月二八日）◇

「有事法制」反対で結集しよう

本体、闘争団、共闘組織の課題が明らかに ―国鉄闘争共闘会議の全国集会から―

連合の「自己改革・自己革新」論と帰結

―新しい産業報国会への危険―

酸素・吸引を要する患者の介護施設を増やせ

滝野 嘉津子

―介護保険見直しにひとこと―

ぼくはこんな本を読んできた

尾崎 文明

創りだすよろこび

読者からのおたより

No. 840 (二〇〇二年七月二一日)

◇巻頭言◇ 世界政治に反動の嵐

伊勢 太郎

くやしい！ だけど負けられない

滝野 忠

国労闘争団にカンパを！

情勢は変わった！ 古い意識から脱却を

―労働運動をめぐる情勢について―

コンピューターで人間の介護度は計れない

―介護保険見直しにひとこと―

キューバでは国民が政府、権力である

―カストロ議長のもーデー演説から（上）―

断固反対！ 特勤手当の抜本見直し・時間内組合活動の規制強化

俳句

田島 省三

読者からのおたより

No. 841 (二〇〇二年八月一日)

滝野 忠

◇巻頭言◇ 「小さな」政府と「大きな」政府
国家、そして議会制民主主義とは

狂騒「サツカー・ブーム」のツケ

◇京コン闘争勝利のご報告とお礼◇

京都コンピュータ学院労組

四人の解雇撤回を勝ち取りました

労働組合の「基軸」は競争の排除なのに

— 電機連合は資本の味方? —

総括なし、責任なし

— 全通水戸大会のゆくえ —

団への信頼と忠誠は不思議な魅力

— 一〇年ぶりの国労闘争団訪問 —

われわれの夢は実現する

— カストロ議長のメーデー演説から —

読者からのおたより

No. 842 (二〇〇二年八月一・二日合併号)

滝野 忠

◇巻頭言◇ 資本の搾取と議会制民主主義

歴史はくり返す — 崩壊したアメリカン・バブル —

国鉄闘争に新たな息吹

◇兵庫からのレポート◇

松枝 佳宏

量から質 質から量

— 有事法制反対の闘いの中で —

有事法制で三鷹市議会が意見書提出

嶋崎 英治

有事関連法案の徹底審議、自治体への具体的説明を求める意見書

綱領「二十一世紀宣言」「党名変更」を決定

— 新社会党第七回大会から —

◇資料◇ 第一部 私たちは何をめざすか(新社会党綱領)

序章 非武装中立と平和革命の道 — 二十一世紀宣言の要旨

介護保険に社会の矛盾が集中

— 社会保障基礎構造改革の本質を訴える —

忘れられる労働組合の基本原則

— 労働組合大会の特徴について —

読者からのおたより

No. 843 (二〇〇二年八月二一日)

◇巻頭言◇ 国家、戦争、教育

「喜びも中くらいなり オラが夏」

—「京コン闘争」報告集会から—

日本経済団体連合会結成の階級性

国鉄闘争は人間らしく生きる「一里塚」

—国労秋田地本横手大曲駅連分会執行委員長への手紙—

カナナスキス・サミットで論議されたこと

—「G8アフリカ行動計画」を策定—

南米大陸に「国家崩壊」が始まった

—アルゼンチン、ブラジル、そしてウルグアイ—

国労音威子府闘争団パンフ作成委員会編

人らしく生きたい 子どもたちの未来のために！

北国「おといねっぶ」からの報告

読者からのおたより

No. 844 (二〇〇二年九月一日)

◇巻頭言◇地方分権という名の中央集権の再編成

奥田君がダラ幹どもにお説教

私鉄職場にもすさまじい「合理化」

バス「分離」白紙撤回をかちとるために

—バスとレールが交流—

追い風が吹いてきた

—国鉄闘争の現状と特徴—

「土屋都議は原告に謝罪し、都議を辞職せよ！」

—土屋たかゆき・都議を被告とする「名誉毀損」裁判、勝訴！—

二〇〇二年平和展の報告

人事院確定闘争—成果と課題

読者からのおたより

付録

音威子府のパンフ『人らしく生きたい 子供たちの未来のために！』と

四国・今治生まれの『人らしく生きよう スポーツタオ』のご案内

滝野 忠
稲村 守

池辺 哲司
山崎 正平

滝野 忠
大嶋 甲三

増田 都子

No. 845 (二〇〇二年九月一日)

◇巻頭言◇ 音威子府パンフで情勢の総学習を

滝野 忠

朝鮮で行われている経済管理方法 — 社会主義分配を正確に実施 —
人でありながら「道具」となっていないか — 「子会社は叫ぶ」を読む —
近年の社会主義論書籍から

松尾 匡

『二一世紀社会主義への挑戦』／『近代市民社会と高度資本主義 — ドイツ社会
思想史研究』／『社会民主主義の源流』／『図解 社会経済学 — 資本主義とは
どのような社会システムか』／

滝野 忠

「左翼小児病」はどう読まなければならないか

総対話と組織拡大基金が焦点 — 全労連大会の特徴について —

◇書評◇

澤野義一氏の新刊『永世中立と非武装平和憲法』を薦める

稲村 守

年間十六万円の貸下げ勧告

読者からのおたより

編集部からのたより

No. 846 (二〇〇二年九月二一日)

◇巻頭言◇ 八・二九沖電気物語

下がる下がる株価が下がる — 世界同時株安の背景 —

「STOP! 戦争と首切り 国鉄団結まつり」にご参加を

小泉訪朝について

私たち国労闘争団員はこう考えます — JRの仲間の皆さんへ — 多田 勝

ふえる「心の病」 — 「大企業従業員症候群」 —

闘いは労使の力関係で決まる — 職場・組織の再強化に全力 —

◇資料◇ 本部合理化対策委員会具体方針(再討議を)

読者からのおたより

No. 847 (二〇〇二年一〇月一日)

◇巻頭言◇ 向坂先生と岩井さんの読書法 読書の秋に寄せて

滝野 忠

二〇〇二ヒロシマ点描

毛利 孝雄

外交は内政の延長 — 日朝首脳会談の帰結 —

〇三年「春闘」はどうなる

◇資料 春季生活闘争改革の具体化に向けて◇

二〇〇三春季生活闘争基本構想素案・連合

国鉄労働者千四十七名の解雇撤回めざす

— 「一〇・一七東京西部のつどい」へご参加を —

検証 「納得できる解決」「早期解決」の道(その一考察)

大谷 一敏

読者からのおたより

No. 848 (二〇〇二年一月一日)

◇巻頭言◇ 企業の倫理と資本の論理

滝野 忠

ワシントン、ニューヨークを駆けめぐる — 当世アメリカ見聞録 —
あなたは向坂派、それとも大森派、私は古本屋：
連合会長の出身企業が事故隠し

— 東電原子力発電所問題で連合が見解 —

◇資料◇ 東電原子力発電の事故隠しに関する談話 (連合)

現状、認識、対策

木村 哲蔵

医療保険制度変更の概要

原 義弘

日本最大の民間単産が誕生 — UIゼンセン同盟、七八万人 —

労働運動の前進に自信を持つ韓国労働者

小西 純一郎

— 「社会の主人公は労働者だ」 —

読者からのおたより

編集部だより

No. 849 (二〇〇二年一月二日)

◇巻頭言◇ 迷走する裸の王様

佐藤 昭一

くり返し — 日本の政治と経済 —

日本の参戦・軍事化に反対する決議

私鉄京成労組

自治体労働者が直面する情勢と課題

— 「第五回全国自治体労働運動研究交流会」基調から (上) —

介護保障が商品に、その実態は — 介護保険 困ったときほんまに利用できるの —

原発はもうダメ！ 即撤退を — 東電の原発トラブル隠し事件に思う —

土木建築の派遣労働 — ここでも不況が直撃 —

読者からのおたより

No. 850 (二〇〇二年一月一日)

◇巻頭言◇ 現代資本主義と「新自由主義」

郵政、道路民営化で過疎化はさらに進展 — 国鉄分割民営化は大失敗だった —
労働運動センター シンポジウムにご参加を！

何が問題で、どこから始めるのか

— 「第五回全国自治体労働運動研究交流会」基調から (下) —

NTT合理化を告発する — 国鉄改革法の変形 (上) —

藤澤 晃

— 「企業の倫理と資本の論理」を読んで —

失業者をさらにムチ打つ — 失業手当も全面的引き下げ提案 —

次の恐慌の名称は「ネット恐慌」

読者からのおたより

No. 851 (二〇〇二年一月一日)

赤峰 正俊・

◇巻頭言◇ 「京コン」争議の勝利解決に寄せて
N T T合理化を告発する — 国鉄改革法の変形 (下) —
労働運動センター シンポジウムにご参加を!

「新自由主義」の経済的基礎 — 現代の独占資本について —

「いじめ・暴力」「心の傷」「不登校」を考える

滝野 嘉津子

— 稲村竜君の事例から —

資本の論理は「三欠く定規」

粗野な「帝国上表国」ロシア

読者からのおたより

No. 852 (二〇〇二年一月二日)

金平 博

◇巻頭言◇ 国労第七〇回定期全国大会で問われるもの
社会は飛躍を求めている — 憲法調査会、中教審「中間報告」に思う (上) —
財界と一体で進む賃金・労働条件切り下げ

滝野 忠

— 〇三年春闘はこうなる —

「いじめ・暴力」「T心の傷」「不登校」を考える — 稲村竜君の事例から (二) —
運輸、自動車産業 — J R東とトヨタ — 現代の独占資本 (中) —

音威子府パンフにへらしく生きハヤを読もう

読者からのおたより

No. 853 (二〇〇二年二月一日)

滝野 忠

◇巻頭言◇ われは「教育基本法」の国を愛す

全国ユニオンが結成大会

— 連合への加盟方針を確認 —

労災多発で川鉄千葉製鉄所長更迭

金融大資本の再編と企業再編 — 東京三菱銀行

— こんにちの独占資本について (下) —

労働運動再生に力合わせを

— 労働運動センターが講演シンポジウム —

原資はどこに — 手ひどい減給 —

国労大会について

お歳暮・お正月用品の注文を! — 国労 協同倶楽部の物販のご案内

日本労働運動の歴史的総括

地域労働運動の新たな発展をめざして

— 二〇都道府県、四二地区労五団体一八四名の参加で成功裏に終わる —
読者からのおたより

No. 854 (二〇〇二年二月一日)

滝野 忠

◇巻頭言◇ 変わる世界、帝国主義政策の復帰
灼熱の坩堝(るつぼ)の中で

— 中国共産党第一六回大会について —

I L O が公務員制度改悪を批判

— 連合、全労連の主張を全面容認 —

失業対策で不安定雇用拡大か

— ハルツ委員会報告の意味するもの —

こんな幹部はやめさせよう

— 京都連合幹部のせこい「小遣い稼ぎ」 —

「いじめ・暴力」「心の傷」「不登校」を考える

— 稲村竜君の事例から(三) —

郵政民営化でドイツポストのえじきに

読者からのおたより

No. 855 (二〇〇二年二月二日)

松枝 佳宏

◇巻頭言◇ 足元から憲法を生かす運動を

— 衆院憲法調査会「中間報告」に抗して —

自由に使える賃金は生涯賃金で月約十三万円

滝野 忠

— 賃金はこんなに安い! —

二〇〇二年、われわれはかく闘った

— 神戸地区労の闘いから(上) —

滋賀県大津市立仰木の里小学校のいじめ・暴力事件

稲村 守

— お礼と近況報告と —

驚きと喜びと生きる力をいただきました

稲村 ひづる

リストラとバブル役員・職制

現代社会と民主共和制(上)

読者からのおたより